２０２４年度　辰巳台地区社会福祉協議会　事業報告

基本目標１　地域の誰もがお互いに支え合うコミュニティづくり

１，地域を知る機会の充実（福祉意識の醸成）

事業名	広報・啓発事業
内　容	（１）　辰巳福祉ネットワークの協力をいただき 広報紙「コスモス」の発行（年４回） （２）ＳＮＳの情報発信に関しては、フェイスブック(Facebook)に加え、インスタグラム(Instagram)も２０２４年５月１７日から発信するようになりました。 情報発信力を評価する投稿へのアクセス数に関しては、フェイスブック(Facebook)おいて、年間を通して昨年度より全体的アクセス数も増加し、フォロワーも若干増え、辰巳台地区社協のＳＮＳの存在を認識されるようになりました。 ２０２４年度情報発信累計 フェイスブック(Facebook)８５件（平均７件／月） インスタグラム(Instagram)７６件（平均６件／月） 辰巳台地区社協のFacebookQRコード 辰巳台地区社協のInstagramQRコード

事業名	たつみ　こども・おとなフェスタ
内　容	各種団体と連携・協力し、第３回 たつみ こども・おとなフェスタを開催しました。当日は天候に恵まれ前年度より、参加者も２割程度増えました。各種団体によるキッチンテントでの模擬店、体育館での抽選会、こども発表会を行い充実し

	た一日となりました。 １１月２４日（日）１０：００～１５：００　辰巳公民館 参加人数　約１０００人 【歳末たすけあい運動協力事業実績】 おたのしみ券：２０２，５４５円 募金：　２４，４９８円 街頭募金：　６３，５６４円

２，人と人とのふれあいを育む場の推進

事業名	共生型サロン事業
内　容	辰巳福祉ネットワークの協力をいただき、高齢者・障がい者・子育て等の分野・属性に関係なく、全世代を対象とした「ふれあいや活躍の場」を提供するべく共生型サロン事業を実施しました。 共生型軽食サロン（旧会食会） ☞年１０回開催　辰巳公民館 ４月～６月　（７月・８月休止）９月～３月 参加者数：６３５名 子育て部会 ☞子育てサロン SukuSuku 年４５回開催（毎週水曜日）ふれあいセンター 参加者数：６０８名 いきいき部会 ☞ほんわかサロン　第１・３金曜日　２７１名 おしゃべり会　第１水曜日　１１７名 出前茶話会　第３月曜日　１００名

事業名	辰巳台地域 子ども食堂だんだん
内　容	辰巳台地域に在住する１８歳未満の子どもに対して、地域の様々な団体が連携し、学習支援や遊びを通じた居場所づくりを推進し、子ども達の豊かで充実した生活と社会づくりに寄与することを目的に活動をしています。 辰巳公民館にて原則第３土曜日に開催しました。 今年度は、「市民活動補助金」「市社協協力金」を頂くことができ、また地域の多方面からの食材の寄付を頂き、毎回のフードパントリーと共に子ども達に食育やバランスのとれた食事を提供することが出来ました。当日は会食とお弁当での用意を行い、様々なニーズに対応できました。また、ＳＮＳやポスター、口コミなどから申込者数が増えました。その対策として事前予約制とし運営を行いました。 実績：１２回（フードパントリー含む） 参加人数：１，３４３名（子ども５３１名） 【協力】 ・生浜高校居場所カフェ　「しほたカフェ」 ・市原市社協フードパントリー事業 【参加した会議体】 ・いちはら地域・子ども食堂ネットワーク

事業名	通いの場「ほっとサロン」
内　容	連合町会集会所で毎週月曜日１０時から１２時まで実施しました。ラジオ体操や懐メロに合わせながらの体操、歌、地域のボランティアさんの手作りの遊具を用いた輪投げや魚釣りゲームなどをチームに分かれて行い、声を出し・身体を使い、あっという間に時間が過ぎ充実した場となりました。 実績：４０回 参加人数：９２１名

基本目標２　地域の繋がりを豊かにするための仕組みづくり

１，寄り添い支えていく体制の強化

事業名	相談支援事業「なんでも相談」
内　容	２０２３年度より「なんでも相談」として、ほっとサロン、ほんわかサロン、軽食サロン（旧会食部会）、子育てサロン、子ども食堂だんだんなどの、居場所づくり事業を活用した相談支援を行いました。昨年度よりも相談件数が増え、地域住民に身近な相談所として実施出来ました。 また、相談内容に応じた対応が出来るように、ケース検討会議を開催し地域課題の共有化を図っております。 相 談 日：２４日 相談件数：２４件 ケース検討会議：３回

２，生活を支えるための体制強化

事業名	日常生活支援事業（買物ツアー）
内　容	たすけあい辰巳ねこの手に協力をいただき、日常の買い物に不自由をしている高齢者を対象にふれあい買物ツアーを実施しました。 実施回数：２４回 参加人数：２３０名 本事業は担い手不足、利用者の固定化の視点から２０２５年度よりマックスバリュが実施する移動スーパーへ移行し、買い物支援を継続実施していきます。

事業名	高齢者地域支え合い事業（第２層協議体・地区行動計画）
内　容	第２層協議体は２０２４年３月に次期テーマ「ボランティアNAVI（仮称）」の発行を決定し、２０２５年３月に「たつみボランティアナビ」として完成、１，５００部を印刷し、公民館、支所、郵便局、コンビニ、美容室・理容室に配布を開始しました。

３，地域福祉力の向上

事業名	人材育成事業（辰巳台地区地域福祉合同研修会）
内　容	第３６回目となる「辰巳台地区地域福祉合同研修会」を地域福祉関係者を対象に実施しました。テーマは「ずっと住み続けたい福祉のまち・たつみ」とし、 社会福祉法人　市原市社会福祉協議会　会長　船山慶子氏、 社会福祉法人　琢心会　理事長　小出浩丸氏 より講演していただきました。講演後は、グループワークを実施し地域福祉実践者たちの生の声で意見交換することで、日ごろの活動に対して課題等の共有化を図ることが出来ました。 日　時：２月２日（日）１３：３０～１６：００ 場　所：ウエルシア・コミュニケーションセンターいちはら 参加者：６２名 内　容：（１） 講演「今後の地域福祉活動について」 講師　市原市社会福祉協議会　会長　船山慶子氏 （２） 講演「住み慣れた地域で最後まで暮らすために」 講師　琢心会　理事長　小出浩丸氏 （３）グループワーク

基本目標３　地域で安心して幸せに暮らすための基盤づくり

１，地域で活躍する人の育成

事業名	福祉教育
内　容	一人ひとりが違うことを理解して、共に生きていくことの大切さを学ぶことを目的に、市社協ボランティアセンターと地区内在住の障がい当事者の方と連携した、福祉教育を実施しました。 ［実施日・対象］ ６月２６日（水）辰巳台中学校　　１年生　１２５名 ９月　６日（金）辰巳台西小学校　３年生　４４名 １２月１９日（木）白幡小学校　　４年生　１７名 ［内容］ 車いす・アイマスク・ガイドヘルプ体験 当事者からのお話

２，災害対応力の体制構築

事業名	災害支援ボラティア事業「親子防災教室」
内　容	地域住民を対象とした研修会を開催し、災害発生時・緊急時の対応方法について、本年度は基本の応急手当、初期消火、ＡＥＤの使用の３点を重点に置き、理解を深めました。また八幡消防署の協力をいただき、疑似消化訓練、消防車乗車体験などを行い、充実した訓練となりました。 日　時：１０月１３日（日）１０：００～１２：００ 場　所：辰巳公民館 内　容：（１）応急手当、ＡＥＤ使用について実践 （２）水消火器を用いた消火訓練 参加者：７７名

３，福祉活動基盤（財源）の強化

事業名	賛助会員制度
内　容	２０２４年度は１２６名の方に賛助会員になっていただきました。 賛 助 会 員 数 ：１２６名 賛　助　会　費　：１９１，０００円

事業名	黄色いレシート
内　容	マックスバリュ辰巳台店の黄色いレシートは地域の方々の協力を得て、還付金の確保に努めました。 「イオン　幸せの黄色いレシートキャンペーン」 毎月 11 日実施 還付金：２３，８００円

事業名	資源リサイクル事業
内　容	各種団体、個人の皆様方のご協力により下記の収益をあげる事ができました。 実施回数：５２回 実 績 額 ：１７１，９１２円